

予算要領の公表

平成31年2月27日に、平成31年2月組合議会定例会において議決された本組合予算について、地方自治法第219条第2項の規定に基づき、その要領を公表します。

平成31年2月28日

鳥栖・三養基西部環境施設組合
管理者 末安 伸之

○平成31年度鳥栖・三養基西部環境施設組合一般会計予算

(1) 予算概要

歳入歳出それぞれ14億1,727万2千円となり、前年度に比べ3億3,289万3千円の減額、伸び率は△19.0%となっています。

(2) 歳入予算

(単位：千円)

款	31年度当初予算①	30年度当初予算②	差額①-②
1 分担金及び負担金	1,153,674	1,524,567	△370,893
2 使用料及び手数料	168,334	147,456	20,878
3 財産収入	238	238	0
4 繰入金	1	1	0
5 繰越金	1	1	0
6 諸収入	95,024	77,902	17,122
計	1,417,272	1,750,165	△332,893

1 分担金及び負担金

構成団体負担金(総額1,153,674千円)の内訳

(単位：千円)

市町名	31年度当初負担額①	30年度当初負担額②	差額①-②
鳥栖市	768,626	978,393	△209,767
上峰町	126,196	163,067	△36,871
みやき町	258,852	383,107	△124,255
計	1,153,674	1,524,567	△370,893

※事業費の見込額から決められた負担割合に応じて算出されています。

2 使用料及び手数料

使用料は、リサイクルプラザの施設使用料5万8千円です。手数料1億6,827万6千円の内訳は、溶融資源化センター分1億4,891万4千円と、リサイクルプラザ分1,936万2千円のごみ処理手数料となっています。それぞれ平成30年度までの実績と推移から見込まれています。

3 財産収入

財産収入のうち 23 万 7 千円は、土地の貸付収入です。

4 繰入金

施設の更新や改修の必要が生じた際に、その財源として施設整備基金をから繰り入れるための科目設置です。

5 繰越金

前年度からの繰越金が生じた場合のための科目設置です。

6 諸収入

雑入 9,502 万 3 千円のうち、5,736 万 3 千円は溶融飛灰処理費補償金です。リサイクル品売却収入として、紙、金属、ペットボトルなどの有価資源物売払金が 3,421 万 6 千円、メタル・スラグ売払金が 183 万 2 千円見込まれています。そのほか公益財団法人日本容器包装リサイクル協会からの再商品化合理化拠出金 100 万円が見込まれています。

(3) 歳出予算

(単位：千円)

款	31年度当初予算①	30年度当初予算②	差額①－②
1 議会費	316	316	0
2 総務費	131,509	83,833	47,676
3 衛生費	1,277,447	1,213,553	63,894
4 予備費	8,000	8,000	0
公債費	0	444,463	△444,463
計	1,417,272	1,750,165	△332,893

1 議会費

議員報酬と費用弁償が計上されています。

2 総務費

総務費は、総務管理費と監査委員費の計上です。総務管理費の一般管理費には、職員の人件費や賃金、構成市町からの派遣職員の人件費負担金のほか、施設管理委託料や清掃費などが計上されています。このほか、本年度は新たに施設解体基金積立金 7,000 万円が計上されています。

なお、監査委員費は、監査委員の報酬と費用弁償 2 万 9 千円が計上されています。

3 衛生費

清掃費のうち溶融施設運営費は、10 億 6,541 万 9 千円の計上です。前年度に比べ 6,637 万円の増となっています。増額の主な要因は、施設運転管理業務委託料 (9 億 2,615 万 2 千円) が、用役単価の上昇及びごみ処理量の増により前年度よりも増加する見込みのためです。また、飛灰を外部処理するための飛灰運搬処理業務委託料 (1 億 1,472 万 7 千円) も飛灰の発生増が見込まれるため増額となっています。

リサイクルプラザ（処理棟）運営費は2億785万円の計上ですが、粗大・不燃ごみ、資源ごみの処理費用です。リサイクルプラザ（プラザ棟）運営費は417万8千円となっていますが、リサイクルプラザで実施している啓発事業費や施設の管理費用が計上されています。

4 予備費

予算編成時に想定できなかった費用に充てる財源800万円を予備費として計上しています。

公債費

公債費は建設事業債の償還金ですが、前年度で全ての償還が完済となりましたので本年度の計上はありません。